

6年 年間指導計画例 (配当105時間)

月	三期	二期	時間	単元名・教材名	指導のねらいと主な学習活動	指導計画作成のポイント
4月		前期	※	わくわく どきどき 社会科 って 楽しいな	●社会科学習を進めるうえで基礎・基本となる調べ方・学び方を学習し、問題解決的な学習の進め方を理解する。	作成のポイント 学び方を身に付けるために、子どもたちが学習の折に触れて、冒頭のこのページに立ち返ることができるようにしたい。 歴史学習については、年号や歴史的事象の暗記に終始することなく、身近な地域教材をもとに、多面的に歴史的事象の意味や背景などを考えることができるようにしたい。 地域教材を用いる単元に、見学や体験学習の時間を確保するなど、各小単元の時数配分は柔軟に対応したい。
			※	歴史の中の子どもたち	●各時代の子どもの様子や活動、遊びを示した図版や写真資料から、歴史をより身近に、今の自分や未来へとつながるものとしてとらえ、歴史を学ぶ意義を感得するとともに、歴史学習への興味・関心を高める。	
			70	1 日本の歴史 (P9～142)	単元目標 先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心をもち、主な歴史的事象について理解を深め、日本の歴史や伝統を大切にしようとする心情を育てる。 〔指導要領内容(1)〕	
			(11)	1 狩りや採集の時代から米作りの時代へ (P10～29)	小単元目標 狩猟・採集や農耕の生活、古墳について調べ、日本列島では長い間、豊かな自然の中で狩猟や採集の生活が営まれていたこと、稲作とともに人々の定住が進み、「むら」から「くに」をつくっていったこと、さらに、その中の大きな勢力をもった豪族が大和朝廷をつくり、日本の広い地域を支配したことが分かる。 〔指導要領内容(1)ア〕 自分たちの地域に残る遺跡や史跡、文化財、博物館・資料館などを見学し、これからの歴史学習への意欲・関心をもつとともに、自分たちの暮らしが歴史の上に成り立っていることに気づく。 〔指導要領内容(1)〕	作成のポイント 本単元は歴史学習の最初の単元となる。自分たちの地域に残る遺跡や史跡、文化財、博物館・資料館などの見学や、体験活動を通して、歴史学習への意欲・関心をもたせたい。博物館見学などでは、地域の歴史全般を調べることもできる。地域の歴史を探ることは3・4年である程度行っているが、ここではさらに一歩進んで、当時の人々が何を願っていたのかなどを追究したり、調べたことを年表にまとめたりするなどして、歴史への関心を高めたい。
				・導入 (P10～13) 加曾利貝塚を訪ねる 縄文時代の暮らしをもっと	●縄文時代の人々の季節ごとの暮らしの様子を示したイラストを見て話し合い、大昔の人々の暮らしについて関心をもち、学習問題を立てる。 ●遺跡で発掘されたものや、博物館の人に聞いた話を手がかりに、狩猟・採集を中心とした縄文時代の人々の暮らしの様子について調べる。 ●資料をもとに考えていくという歴史学習の楽しさをとらえる。 ●三内丸山遺跡で発掘されたものや	学習指導要領のポイント 新学習指導要領では、「狩猟・採集や農耕の生活」を扱うこととなった。ここでは、イラストと写真を関連させて見ることで、当時の人々の暮らしの様子を想像させるとともに、残された資料から過去の様子を考えるという歴史学習の方法に目が向くようにしたい。

(8)

2 強まる天皇の力と貴族の文化 (P30～43)

・導入 (P30～31)

くわしく調べよう

米作りは、どうやって始まったのかな

米作りによって、むらはどう変わったのかな

どうして古墳がつくられるようになったのかな

くには、どうなっていったのかな

見てみよう！ 縄文時代より前の時代

縄文時代のころの世界は？

ひろげる ふかめる

復元されたものを手がかりに、縄文時代の人々の暮らしの様子を調べる。

●大陸から米作りが伝わって、暮らしがどのように変わったのかを予想しながら、当時の暮らしの様子について調べる。

●米作りによって、「むら」に指導者が生まれ、人々に役割の違いが生じたことをとらえる。また、「むら」どうしの争いが起こり、「むら」が結合して「くに」ができていったことや、大きな力をもつ豪族が各地に現れたことをとらえる。

●古墳の規模や副葬品を調べて、3世紀の末ごろから豪族が次第に大きな力をもつていったことをとらえ、古墳がつくられた理由を考える。

●大和地方の強大な力をもつ豪族が「くに」をまとめていき、やがて日本の広い地域を支配していき、大和朝廷が成立したことをとらえる。

●大陸や朝鮮半島から伝わった文化について調べ、その文化が日本のくにづくりを支えていったことをとらえる。

●縄文時代より前の時代の人々が狩猟を中心とした生活をしてきたことを、想像図などをもとにして調べる。

●縄文時代のころの世界の様子に興味をもつ。

●土器づくり、火おこしといった体験学習を通して、当時の人々の暮らしの様子や知恵を実感的にとらえる。

小単元目標 大陸文化の摂取に関連する聖徳太子や聖武天皇の働きや大化の改新などの歴史的な事象を調べ、当時の人々が仏教の教えをもとに天皇中心の国家をつくりあげていったことが分かる。さらに貴族の暮らしや寝殿造などを調べて、藤原氏を中心とした政治の様子や日本風の文化が生まれたことが分かる。〔指導要領内容(1)イ〕

●大仏の写真や大きさを示す資料を見て話し合い、聖武天皇が大きな大仏をつくった理由を予想し、天皇を中心とした国づくりについて

作成のポイント

縄文時代より前の時代に興味をもつ児童に対しては、本ページなどを活用して調べ活動ができるように支援していきたい。

作成のポイント

聖徳太子の人物調べをしたり、大仏づくりについて具体的に調べたりすることを通して、関心を高めたい。その際には、法隆寺や東大寺などの代表的な文化遺産にも注目させたい。また、中国の文化や政治の仕組みを導入するなど、中国との結びつきが密接であったことに目が向くようにしたい。

作成のポイント

大仏の大きさを実感し、問題意識をもつことにつながるために、大仏の全体像や部分(目、螺旋、手など)

(10) **3 鎌倉武士の時代と室町文化** (P44～61)

天皇中心の国は、どのようにしてつくられたのかな

平城京って、どんなところなのかな

聖武天皇は、どうして大仏をつくったのかな

大陸とは、どんな交流があったのかな

貴族の暮らしは、どんな様子だったのかな

貴族の暮らしから、どんな文化が生まれたのかな

ひろげる ふかめる

- 調べるための学習問題を立てる。
- 聖徳太子の政治の様子を十七条憲法や冠位十二階、遣隋使などから調べ、太子が仏教をもとに天皇中心の国づくりを進めたことや中国の政治や文化を取り入れようとしていたことを理解する。
 - 大化の改新について調べ、中大兄皇子らが中心となって蘇我氏を滅ぼし、天皇中心の国家の仕組みをつくったことを理解する。
 - 唐をまねてつくられた平城京の様子を調べ、都のにぎわいを知るとともに、都の暮らしを支えた地方の農民の暮らしについて調べ、当時の一般の人々の厳しい暮らしに気づく。
 - 聖武天皇が発願した大仏造営について調べ、仏教を通して政治を安定させようとしていたことをとらえる。
 - 聖武天皇が大仏づくりにたくした願いを考える。
 - 遣唐使の役割、鑑真の日本渡来について調べ、朝廷が唐などの外国の文化を取り入れ、政治や文化に生かしていたことを理解する。
 - 危険をおかしても海を渡ろうとした当時の人々の思いについて考える。
 - 平安遷都後の貴族たちの暮らしの様子を寝殿造の建物や絵巻物などから調べ、政治の実権が天皇から藤原氏のような貴族に移っていったことをとらえる。
 - 儀式や行事などが暮らしの中心であった貴族の生活の様子を調べ、貴族社会の中から日本風の文化が栄えていったことをとらえる。
 - 貴族の服装など自分が興味をもった当時の暮らしの様子について調べて、分かったことや考えたことを新聞にして発表する。

小単元目標 鎌倉幕府の成立、元寇や当時の人々の暮らしについて調べ、貴族に代わって武士が政治の実権を握るようになったこと、農民や町人も力をつけてきたことが分かる。また、室町時代の代表的な建築物や絵画などを調べ、現代につながる新しい文化が生まれたことが分かる。

[指導要領内容(1)ウ、エ]

を模造紙などを用いて再現する活動を取り入れたい。

・導入 (P44～45)

武士は、どのようにして現れたのかな

どんな戦いがあったのかな

頼朝は、どんな政治を行ったのかな

見てみよう！ 武士の暮らし

元がせめてきて、幕府はどうしたのかな

室町文化
室町文化を体験してみよう

見てみよう！ 室町文化が栄えたころの村や町の様子

ひろげる ふかめる

(5) **4 天下統一をめざした武将たち** (P62～71)

・導入 (P62～63)

信長は、天下統一ができたのかな

●武士の戦いの図を見て話し合い、武士が力をもった時代について調べていくための学習問題を立てる。

●公地公民の制度が崩れて、地方では豪族が力をもち武士団が形成されていったこと、その中で平氏と源氏が力もち、貴族の藤原氏に代わり武士である平氏が政治の実権を握ったことをとらえる。

●源氏と平氏の戦いについて調べ、源氏が平氏を破り、鎌倉幕府を開くまでの経緯をつかむ。

●源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由を考える。

●鎌倉幕府の政治の仕組みや、将軍と御家人の関係について、御恩と奉公を中心に調べる。

●武士の館と貴族の館を比べて違いを調べ、その理由を考える。

●武士のふだんの暮らしの様子を調べる。

●元との戦いについて調べ、当時の武士の思いを考える。

●元寇によって幕府の力が弱まっていったことをとらえる。

●我が国の代表的な文化遺産である建築物や絵画を通して室町文化について調べ、現代につながる文化が武士や民衆の間から生まれたことを理解する。

●この時代に興り、現代でも親しまれている茶の湯や生け花、墨絵などを体験することで、この時代の暮らしの様子をとらえる。

●資料から、当時の村や町の人々が力をもつようになり、協力し合っ

て暮らしていたことをとらえる。

●能や狂言など、今につながる室町文化について興味をもったことを調べて、分かったことや考えたことをまとめる。

小単元目標 信長、秀吉から家康に至るまでの天下統一の過程を調べ、このころの様子が分かる。
〔指導要領内容(1)オ〕

●長篠の戦いの様子を見て話し合い、信長、秀吉から家康に至る天下統一の過程について調べていくための学習問題を立てる。

●織田信長が勢力を拡大していった様子や、信長の考え方を調べる。

●鉄砲・キリスト教の伝来について調べる。

作成のポイント
源氏と平氏の争いについての物語などさまざまなエピソードを用いるなどして、貴族に代わって武士が力をもったことに目が向くようにしたい。さらに、身近な地域に残る鎌倉道や鎌倉時代に建てられた寺院などを見学し、関心を高める工夫もしたい。

学習指導要領のポイント
新学習指導要領では、室町文化に関する内容が独立して示された。現代の生活とつながるものが多いので、身の回りにあるものと比較対照したり、体験活動に取り組んだりすることで、理解を深めるようにしたい。また、平安時代の貴族文化と比較することで、それぞれの特色がより鮮明になると考えられる。

作成のポイント
3人の武将が行ったことや考え方などを、年表にして比較するなどして、天下統一の歩みへの理解を深めさせたい。

9月	一学期	<p>秀吉は、どのようにして天下統一をめざしたのかな</p> <p>家康は、どのようにして天下を治めたのかな</p> <p>3人の武将について、年表にまとめてみました。 ひろげる ふかめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●天下を統一していった秀吉が行った検地・刀狩の目的や朝鮮侵略について調べる。 ●家康が天下を統一するまでの過程や、江戸に幕府を開き、その基礎を固めたことについて調べる。 ●江戸の町づくりの特徴を考える。 ●3人の武将の生き方を比べて考える。 ●歌や句を手がかりに3人の武将について調べたことをもとにして、3人の武将が天下統一に果たした役割について考える。 	
	前期	<p>(5) 5 260年続いた江戸幕府 (P72～81)</p> <p>・導入 (P72～73)</p> <p>幕府は、どのようにして大名を従わせたのかな</p> <p>幕府は、百姓や町人をどのように支配したのかな</p> <p>なぜ、キリスト教を禁止したのかな</p> <p>ひろげる ふかめる</p>	<p>小単元目標 江戸幕府が、参勤交代、鎖国政策、身分による支配などを通して支配の体制を整え、泰平の時代を築いていったことを調べる。〔指導要領内容(1)オ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●参勤交代の行列の様子を見て話し合い、260年も続いた江戸幕府の支配体制や人々の暮らしについて調べていくための学習問題を立てる。 ●参勤交代や大名の配置について調べ、江戸幕府は大名を厳しく統制して支配していたことをとらえる。 ●幕府の定めた身分制度による支配の様子を調べ、百姓や町人の暮らしや、彼らとは差別された身分の人々の暮らしについて考える。 ●島原の乱や長崎の出島、朝鮮通信使について調べ、キリスト教の禁止や、鎖国などの対外政策について考える。 ●特産物が船で運ばれた航路や、五街道などについて調べて、分かったことや考えたことをまとめる。 	<p>作成のポイント</p> <p>260年という長さに注目し、江戸幕府が安定した体制を築けた理由を予想しながら、江戸幕府の制度について調べていけるようにしたい。</p>
	二学期	<p>(6) 6 都市の発展と江戸の文化 (P82～93)</p> <p>・導入 (P82～83)</p> <p>都市の発展は、どんな文化を生んだのかな</p> <p>歌舞伎と人形浄瑠璃 浮世絵</p>	<p>小単元目標 江戸幕府の安定した体制のもとで、都市が発展し、新しい文化や学問が興ったことが分かる。〔指導要領内容(1)カ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●江戸の町の様子や活気に満ちた人々の様子を見て話し合い、人々の間に生まれた文化について調べていくための学習問題を立てる。 ●都市の発展について調べ、町人が力をつけて、文化活動が盛んになったことをとらえる。 ●人々が親しみ楽しんだ浮世絵や歌舞伎などの新しい町人文化について調べる。 	<p>学習指導要領のポイント</p> <p>新学習指導要領では、「江戸時代の町人文化と新しい学問の成立」が独立して示された。「歌舞伎、浮世絵などの町人文化」「国学や蘭学などの新しい学問」の成立という二つの歴史的事象それぞれをとらえさせたい。その際、取り上げる人物は指導要領で例示された人物（近松門左衛門・歌川広重、本居宣長・杉田玄白・伊能忠敬）とともに、地域でこの事項と関連する人物の中</p>

(14)

7 開国が日本にもたらしたもの (P94～119)

どんな学問が広がったのかな

伊能忠敬の日本地図

見てみよう！ 江戸時代のロボット～からくり人形～

見てみよう！ 江戸の町人の暮らし

ひろげる ふかめる

• 導入 (P94～95)

アメリカの使節は、どうして開国を求めたのかな

アメリカの要求に幕府はどのように対応したのかな

江戸幕府をたおしたのは、どんな人たちかな

新しい政府は、どんな改革を行ったのかな

文明開化
富国強兵

- 国学や蘭学を通して新しい学問の広がりについて調べる。また、寺子屋や藩校を通して武士や町人の子どもたちの教育が盛んになったことを調べる。
 - 伊能忠敬の業績とその努力について調べ、まとめる。
 - からくり人形や時計について調べて、先人が新しい技術を取り入れ改良を重ねてきたことで、日本の技術力が培われてきたことをつかむ。
 - 長屋の様子などを調べて、江戸の町人の暮らし振りについて具体的に考える。
 - 江戸時代の生活をリサイクルの視点から調べ、まとめる。
- 小単元目標** ペリーの来航と開国, 明治維新, 文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れて日本の近代化が進められたことが分かる。また、大日本帝国憲法の発布, 条約改正, 日清・日露戦争, 科学の発展などについて調べ、国力が充実していったことが分かる。
- [指導要領内容(1)キ, ク]
- 開港前後の横浜の様子を見比べて気づいたことを話し合い、開港によって日本がどのように変わっていったのかを調べていくための学習問題を立てる。
 - 黒船来航の目的や背景、幕府の対応について調べる。
 - 黒船を見た当時の人々の思いについて考える。
 - 幕府が日米修好通商条約を結ぶまでの経過や、条約の内容について調べる。
 - 開国による急激な変化で世の中が不安定になった様子や江戸幕府が倒されるまでの経過について、人物に注目するなどして調べる。
 - 新しい時代を開こうとした人々の思いを考える。
 - 明治維新について調べ、新しい政府が天皇を中心とした近代的な国家をめざしたことをとらえる。
 - 文明開化や富国強兵について調べ、開国とともに欧米の考え方や文化、技術が取り入れられて新しい国づくりが進められた様子をとらえ、その意味を考える。

から選択するようにしたい。

作成のポイント
幕末のペリー来航から大正期までの約70年間を扱う。開国によって急激に変化した日本の姿を、時間軸も考慮に入れながらつかませていきたい。世界を見つめて活躍した人物の動きに注目するなどして、理解を深めたい。

	前期	<p>新しい政府に対する不満はなかったのかな</p> <p>人々は、どんな政治を行ってほしいと思ったのかな</p> <p>日本は、どのようにして条約を改正したのかな</p> <p>二つの戦争は、どんな戦争だったのかな</p> <p>韓国との関係はどうなったのかな</p> <p>科学や学問の発展</p> <p>人々の暮らしは、どう変わったのかな</p> <p>見てみよう！ 大正・昭和の暮らし ひろげる ふかめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●政府のさまざまな改革と、それに対して不満をもった人々の一揆や反乱について調べ、それぞれの思いを考える。 ●自由民権運動が高まる中、政府が憲法を制定し議会を開く過程と、憲法の内容や帝国議会、選挙の様子について調べる。 ●ノルマントン号事件などについて調べ、条約の問題点について考える。 ●条約改正が達成されるまでの経過を調べ、日本が国際的な地位を認められたことをとらえ、その意味を考える。 ●日清・日露戦争の経過を調べ、日本が大陸へ進出しようとしていたことをとらえる。 ●日露戦争後、韓国を併合した日本が行った政策について調べ、それに対し韓国の人々が強く抵抗したことを理解する。 ●このころ科学や文化の面で、さまざまな日本人が活躍したことをとらえる。 ●このころの産業について調べ、富国強兵政策により工業が発展してきたことや、発展の陰に労働者や農民の苦しい生活があったことを理解する。また、「全国水平社」運動や女性の地位向上運動、普通選挙運動などについて調べ、民主化の動きが活発になっていったことをとらえる。 ●民主化が進んだ大正末ごろの人々の暮らしの様子について調べる。 ●この時代に活躍した人物の中から興味のある人物を選んで、調べてカードにまとめる。 	
10月・11月	後期	<p>(11) 8 戦争の時代から平和の時代へ (P120～141)</p> <p>●導入 (P120～121)</p>	<p>小単元目標 日中戦争・太平洋戦争の様子について調べ、国内をはじめ、中国、韓国・朝鮮などアジアの人々に多大な被害を与えたことが分かる。そして戦後の日本は民主的な国家として新たに出発し、経済成長を遂げて豊かな国となり、国際社会においても重要な役割を果たしてきたこと、その一方で近隣諸国との政治的、経済的関係の改善、国内では公害などさまざまな問題を抱えていることが分かる。〔指導要領内容(1)ケ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京大空襲と東京オリンピックの写真を見比べて、この間の出来事 	<p>作成のポイント</p> <p>日中戦争・太平洋戦争や戦時下の暮らしについては、体験者の証言や記録を資料として用い、実感的にとらえさせたい。</p> <p>この時代は、写真や映像資料なども入手しやすくなる。その中にいる子どもたちの姿は、実は自分たちの祖父母や父母の過去の姿と重なっている。3・4年の「昔の暮らし」の学習も想起し、身近な人の話を聞くなどして、それぞれの時代を生きた人々の思いを考えさせていきたい。</p>

<p>戦争は、どのようにして始まったのかな</p>	<p>に興味をもち、戦争の時代や戦後の復興の様子について調べていくための学習問題を立てる。</p> <p>●日本が大陸に進出し、中国との間に戦争を起こした背景や経過について調べる。</p>
<p>戦争は、どのように広がっていったのかな</p>	<p>●日本がドイツ、イタリアと軍事同盟を結び、戦争を拡大していった経過と様子について調べる。</p>
<p>戦争中、人々はどのような暮らしをしていたのかな</p>	<p>●資料をもとに戦争中の暮らしについて予想しながら、戦争の拡大につれて、日本やアジアの人々が苦しい生活を強いられたことを調べ、理解する。</p>
<p>戦争のころの子どもたちの暮らしについて調べました。</p>	<p>●地域の高齢者に話を聞くなどして、自分たちと同じ子どもたちの戦時下の暮らしについて調べる。</p>
<p>戦争は、どうやって終わったのかな</p>	<p>●当時の人々の思いを考える。</p>
<p>日本は、どうやって敗戦から立ち直ったのかな</p>	<p>●敗戦に至るまでの都市への空襲や、沖縄戦、広島・長崎への原爆投下について調べ、人々が受けた大きな被害について理解する。</p> <p>●原爆ドームが世界遺産に登録された理由を考える。</p>
<p>日本は、どうやって敗戦から立ち直ったのかな</p>	<p>●戦後に行われた教育、選挙制度の改革、新たに施行された日本国憲法などについて調べ、日本が民主国家をめざして歩き始めたことを理解する。</p>
<p>日本は、どのようにして独立していったのかな</p>	<p>●戦後の世界の動きや朝鮮戦争、日本が独立して国際社会へ復帰していった経過などを調べるとともに、未だに解決されずに残っている問題もあることに気づく。</p>
<p>人々の暮らしは、どのように変わったのかな</p>	<p>●日本が高度成長を遂げた東京オリンピックのころの様子を、身近な人に話を聞くなどして調べる。</p>
<p>世界で日本が果たすべき役割は何かな</p>	<p>●日本が高度経済成長の中で近隣諸国との関係を修復し、世界の中で重要な役割を果たすようになったことをつかむ。</p>
<p>見てみよう！ 世界に貢献する日本</p>	<p>●環境問題や紛争などの世界の問題に取り組む日本や日本の人たちについて調べ、その果たすべき役割を考える。</p>
<p>ひろげる ふかめる</p>	<p>●自分たちの生まれた平成時代の出来事について調べて、分かったことや考えたことを発表する。</p>
<p>※ 学びのひろば 歴史を学んで (P142)</p>	<p>●歴史学習を通して感じたことを作文に書き、自分たちの生きる現在や未来の日本について考えたり、話し合ったりする。</p>
<p>18 2 わたしたちの暮らしと政治 (P143～174)</p>	<p>単元目標 政治の働きについて調べ、政治が国民生活の安定と向上</p>

(11) 1 考えよう みんなの願いと政治の働き
(P144～163)

・導入 (P144～145)

みんなが安心して暮らせるように市がしていることは

市民総合センターでは、どんなことをしているのかな

市民総合センターはどうしてできたのかな

見てみよう！ もう少し調べたよ

国は、どのようにみんなのための政治を行っているのかな

に役立っていることに気づくことができる。さらに、現在の日本の民主政治が日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解できるようにする。
〔指導要領内容(2)〕

小単元目標 地方自治体や国が、地域の実情に応じて、住民の願いを取り入れて必要な施策を進めていることや、選挙、国会、内閣などについて調べ、政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
〔指導要領内容(2)ア〕

- 写真を参考にしながら、幸せに、よりよい暮らしを送るための人々の願いについて話し合い、安定した社会や住みよい環境づくりに大きなかかわりをもつ政治の働きについて、調べていくための学習問題を立てる。
- 市の仕事について調べ、特に「安心」にかかわることについてどのようなことをしているかに関心をもつ。
- 福祉にかかわる施設である市民総合センターに興味をもち、調べる意欲をもつ。
- 資料を調べて分かったことなどをもとに、市民総合センターの見学計画を立てる。
- 見学したり、インタビューをしたりして、市民総合センターが地域の人々にどのように利用されているかを調べる。
- 市民総合センターがどのようにしてつくられたかを調べてまとめ、市役所、住民、国や都(県・道・府)庁とのかかわりをとらえる。
- 高齢者体験や車椅子体験を通して、だれもが住みやすい社会について実感的に考える。
- 租税の役割について調べて、分かったことや考えたことをまとめる。
- これまでに学習したことや、身近な暮らしと法律とのかかわりなどから、国の政治に関心をもつ。
- 国会や裁判所、選挙などについて知りたいことや興味のあることを話し合い、調べ活動への意欲を高める。

学習指導要領のポイント

新学習指導要領では、「地方公共団体や国の政治の働き」については、社会保障、災害復旧の取り組み、地域の開発などの中から選択して取り上げるとされている。社会保障としては、「高齢者や障害者の介護」「医療の充実」「子育て支援」などについて、地方公共団体が地域の実情や人々の願いを取り入れて、必要な施策を決めて国と協力して取り組んでいる具体例を扱うことが想定されている。これらを踏まえ、身近にある、地域の人々の願いが実現した具体的事例を取り上げて学習することを意識したい。子どもたち自身が、調査活動や資料収集を通して分かったことをもとに、身近な事例に対する問題を追究できるようにしたい。

作成のポイント

国民の政治に対する願いを手がかりにして、自分や自分の身近な人の願いなどがどのように実現されるのかを調べてみたいという意欲がもてるようにしたい。

国の政治の働きや仕組みについて知りたいな

国の政治の仕組みをまとめてみると

見てみよう！ 災害が起こったときは

ひろげる ふかめる

(7) **2 調べよう 暮らしの中に生きる憲法**
(P164～173)

- 導入 (P164～165)

日本の最高の決まりである憲法って、どのようなものかな

憲法の三つの柱について知りたいな

●選挙の仕組みや国会の働き、内閣の働き、裁判所の働きなど国の政治の仕組みについて調べ、分かったことや考えたことを発表する計画を立てる。

●国民の生活の安定と向上を図るために大切な働きをしている国会の仕組みや仕事について調べる。

●国の政治を進めている内閣の働きや仕組みについて調べる。

●裁判所が人権を守るために大切な働きをしていることを調べる。また、国民の司法参加について調べ、法律に基づいて行われる裁判と国民とのかかわりについて考える。

●国民が政治に参加していくうえで選挙権が大切であることや、選挙の仕組みについて調べる。

●国の政治の仕組みについてまとめ、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連を理解する。

●国の政治について分かったことや考えたことを話し合う。

●災害時の市の活動を調べ、人々の安全や安心を確保するために市や県、国が協力し合いながら、計画的に活動していることを理解する。

●これまで調べてきたことをもとに、いつまでも安心して暮らせるまちにするためにできることを考え話し合う。

小単元目標 日本国憲法の主な内容や国民生活とのかかわりについて調べ、日本国憲法は「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の三つを柱としていることを理解する。〔指導要領内容(2)イ〕

●写真や資料を見て、日本国憲法について興味をもつ。

●日本国憲法の前文を読み、日本国憲法の三つの柱「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」について調べていこうとする意欲をもつ。

●日本国憲法の三つの柱の一つである国民主権がどのように実現されているかを調べる。

●基本的人権を尊重する考えが、日本国憲法や自分たちの暮らしの中にどう表されているか調べ、考える。

●日本国憲法に記されている国民の権利と義務について調べる。

学習指導要領のポイント

新学習指導要領では、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、及び国民の司法参加について扱うことが示されている。「三権分立」については、図を活用するなどして、それぞれの関係を一つ一つ確認しながら理解を深めていきたい。「司法参加」については、国民が裁判に参加する裁判員制度に触れ、法律に基づいて行われる裁判と国民とのかかわりについて考えさせたい。

作成のポイント

日本国憲法の前文に書かれていることを手がかりにして、子どもたちの生活とかわりのある事柄を中心に学習を進め、憲法が自分たちの身近にあることに気づき、憲法の精神を自分たちの問題として考えることができるようにしたい。

	<p>日本国憲法を調べて考えたことは</p> <p>ひろげる ふかめる</p> <p>※ 学びのひろば 「子どもの権利条約」って、何だろう (P174)</p> <p>17 3 ともに生きる地球 (P175～212)</p> <p>(1) 単元導入 (P176～178)</p> <p>(8) 1 世界と結びつく日本 (P179～197)</p> <p>• 導入 (P179～181)</p> <p>つながりの深い国について調べるには</p> <p>日本とつながりの深い国って、どのような国なのだろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●国民の平和への願いと日本国憲法との関連について調べ、平和主義の意味を考える。 ●日本国憲法について調べて分かったことや考えたことについて話し合う。 ●身近な暮らしの中で、基本的人権を尊重する考え方がどのように生かされているかを考える。 ●子どもの権利条約について調べ、自分や友達、世界の子どもたちの人権について考える。 <p>単元目標 日本と経済や文化などの面につながりが深い国の人々の生活の様子を調べたり、日本の国際協力や国際交流の様子、国際連合の働きなどを調べたりすることを通して、世界の人々とともに生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることや、世界平和をめざすうえで日本が重要な役割を担っていることを考えることができるようにする。〔指導要領内容(3)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資料を見て自分も世界の一員であることに気づき、世界と日本との結びつきや世界の抱える問題について考えていこうとする意欲をもつ。 <p>小単元目標 日本と経済や文化などの面につながりが深い国の人々の生活の様子を調べ、世界にはさまざまな文化や習慣があり、世界の人々がともに生きていくためには互いを理解し合うことが大切であることに気づくようにする。〔指導要領内容(3)ア〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本や自分は、世界のどのような国とどのようなつながりをもっているのかを身近なところから考えて、世界の国々について調べるための学習問題を立てる。 ●日本とつながりの深い国から1国を選び、計画を立て、その国の人々の生活や文化、日本とのつながりについて調べて発表しようとする意欲をもつ。 ●それぞれの国の食べ物や行事、自然、国土などについて調べ、それらをもとに、日本とのつながりや、人々や子どもたちの暮らしの様子について予想して調べ、まとめる。 ●ここでは、日本と古くからつなが 	<p>作成のポイント</p> <p>今までに学習してきたことをもとにして、世界の国々とのかかわりについて調べるようにしたい。交流活動などを取り入れながら、国際社会に生きる人間として、互いの文化や習慣への理解を深め、世界の問題について主体的に考えていくことができるようにしたい。</p> <p>学習指導要領のポイント</p> <p>新学習指導要領では、「地図や地球儀などの基礎的資料を効果的に活用」することが能力目標に示されている。調べ学習に際しては、地図、地球儀を活用する機会を意識して取り入れた。経済や文化などの面につながりが深い国の名称と位置を確認したり、日本から見た方位などを調べたり</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

みんなの調べたことを知りたいな

ひろげる ふかめる

(8) 2 ともに生きる世界をめざして (P198～211)

・導入 (P198～200)

ユニセフは、どのような活動をしているのだろう

世界ではどのような問題が起きているのだろう

青年海外協力隊って、どんな活動をするんだろう

たがいのことを知るためにできることは

りが深い中華人民共和国、貿易などさまざまなつながりのあるアメリカ合衆国、たくさんの日系人が暮らすブラジル、石油輸入でつながりの深いサウジアラビアを例示している。

●調べた国について、工夫してまとめて発表し合い、分かったことや考えたことを話し合う。

●世界の国々について調べて、さらに知りたくなったことを調べたり、体験活動をしったりすることを通して、世界の国々への理解を深める。

小単元目標 日本の国際協力活動やユニセフの活動を具体的に調べ、世界の抱える紛争や飢え、環境問題などを解決するために、国際連合が大切な働きをしていることや、日本が重要な役割を担っていることを考えることができるようにする。また、スポーツや文化を通じた国際交流について調べ、国際交流がともに生きる世界をつくるために大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。〔指導要領内容(3)イ〕

●資料をもとに、世界には紛争や飢え、環境破壊などの問題があることや、それらが自分と無関係ではないことに気づき、それらを解決するための取り組みに興味をもち、調べるための学習問題を立てる。

●ユニセフやその他の国連機関について調べることを通して、平和な国際社会の実現に努める国際連合の働きを理解するとともに、自分たちにできることを考える。

●資料を見て、世界で起きている環境問題や紛争について考えるとともに、さまざまな問題を解決し、平和な世界をつくるために、日本が大きな役割を果たしていることを理解し、国際協力活動について調べる意欲をもつ。

●青年海外協力隊やNGOの活動を調べ、協力活動に取り組む人々の生き方に触れるとともに、日本が世界の中で果たす役割について考える。

●オリンピックの歩みや意義、さまざまなスポーツの世界大会など、スポーツを通じた交流活動について

することを通して、これらを活用する能力を育てるとともに、世界の国々や地域への関心を高めていきたい。

作成のポイント

世界で起きているさまざまな問題は、日常的に新聞やテレビの報道によって伝えられている。それらの情報をもとにして、世界のさまざまな問題を調べたり、報告したりしていこうとする意欲をもてるようにしたい。また、実感的に考える手がかりとなるように、協力活動を行っている人と交流する機会を設けるなどの工夫をしたい。

作成のポイント

身近な競技会や地域の交流活動などの具体的な事例を通して、自分たちの身近

三 学 期	後 期	<p>地域に暮らす外国の方にお話をうかがおう</p> <p>ひろげる ふかめる</p> <p>※ 学びのひろば 国境なき医師団～国境をこえて医療を届ける～ (P212)</p>	<p>て調べ、スポーツが互いの理解を深める大きな力となることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●外国の人々とのさまざまな文化交流について調べ、国際交流の大切さを理解する。 ●自分はどんな交流活動をしたいか考え、世界の国々と友好関係を保つ方法について話し合う。 ●外国の方と知り合うことを通して、世界の国々に対する理解を深める。 ●よりよい世界をつくるための日本や世界の人々の取り組みについて調べて、考えたことを話し合う。 ●学習してきたことをもとに、世界で起こっているさまざまな問題の解決のために、自分たちが今できること、10年後、20年後ならできそうなことを考える。 ●国境を越えて活動するNGOの活動について詳しく調べ、世界平和の取り組みや国際協力活動への理解を深める。 	<p>なところにもスポーツや文化を通しての国際交流があることに気づき、自分たちにできる交流活動について考えることができるようにしたい。</p>
		<p>※ もっとひろげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ とともに生きる社会を ～人権を守る～ ※ 日本国憲法前文 ※ 国民の祝日 ※ 自由と平等を求めて ～フランス 人権宣言～ ※ 地球の環境について考える ※ 日本の世界遺産 ※ 未来へのメッセージ 		